

優勝はkanade

市総体バレー・ママさん

第55回習志野市市民総合体育大会のバレーボール競技・ママさんの部が10月24日と11月7日、東部体育館ほかで開催された。

▽Aコート
①kanade②香澄シーガルス③香澄小PTA
▽Bコート
①プアン②KandK③香津小PTAバレー部

▽3位決定戦

Kan 42 21-18 香澄シーガルス
dK 21-11 29 ガルス

▽決勝戦

kanade 38 21-15 36 プアン
de 17 21-15 36 プアン

大会結果は次の通り。

①kanade②プアン③KandK



優勝のkanade (写真提供・kanade)

ランバイク大会に向け teamBLAST

秋津でリハーサル

ペダルのない自転車「ランバイク」の大会に向けた、リハーサルが11月21日、秋津運動公園内の駐車場で行われた。

ランバイクは2歳からでも乗れる自転車、足で地面を踏んで走る、新しいタ



大会に向けた練習で巧みな走行を見せるランバイクの選手たち

今回のリハーサルは、ランバイクのチーム「teamBLAST」が主催する大会を前に企画された。チームは平成23(2011)年に誕生し、稲毛海浜公園を拠点に活動している。ランバイクレースの大会に出場する子どもたちの支援を行う、60名以上が参加する全国でも大きなチームになっている。

競技はスタート台から、設けられた直線やカーブのあるコースを一齐にスタートし、ゴールまでの順位を競うもの。選手たちはヘルメットを着用し、手袋のほか、ひざあて、ひじあてをするなど、事故防止に備えている。

練習とはいえ、子どもたちは第一コーナーに設置し

ているコーンへ向けてスタートから飛び出し、身体バランスを上手く使いながら、巧みにコーナーを攻めていった。

チーム代表の松谷勇紀さんは「ランバイクによって自分がどれくらいがんばればライバルに勝てるか、どれだけ努力すれば成長できるのかを体感できていると思います。コーチや監督がいるという形ではなく、メンバーの家族が集まったチームで、みんながボランティアで子どもたちの安全を考えた練習会場づくりなどを行っています」と述べている。

競技に参加する2歳と4歳の保護者は「子どもたちはみんなで競い合う楽しさを楽しんでいます」と話していた。

teamBLASTが主催する第2回「teamBLAST CUP」は12月12日、東京・江東区の有明ガーデンのスポーツエンターテイメント広場で開催。競技のエントリーは2歳から8歳までの年齢ごとのクラスと9歳以上によるオープンクラスで行われる。

阿武松部屋力士11月場所成績表

福岡国際センター 11月14日～28日

	こ名	結果	
幕内	東2枚目 ● 阿武咲	5勝10敗	
	幕下	西16枚目 ● 天王山	2勝5敗
		東25枚目 ○ 土佐縁	4勝3敗
		西35枚目 ● 二本柳	3勝4敗
		東56枚目 ○ 勇磨	4勝3敗
		東60枚目 ● 慶天海	3勝4敗
三段目		西20枚目 ○ 秋良	5勝2敗
	東29枚目 ● 荒雄山	7勝6敗	
	東53枚目 益湊	休場	
	東68枚目 ○ 天津	4勝2敗1休	
	西92枚目 ○ 稲葉	4勝3敗	
	序二段	東30枚目 ● 禎ノ花	2勝5敗
西53枚目 若山		休場	
東7枚目 ● 大天真		3勝4敗	

阿武咲負け越し 大相撲11月場所 大相撲11月場所は11月28日、千秋楽を迎えた。阿武松部屋の幕内力士、阿武咲関は初日から5連敗を喫し、5勝にとどまった。幕下では土佐縁、勇磨が勝ち越し。三段目の秋良が5勝と健闘した。益湊、若山はケガのため初日から休場。大相撲11月場所は令和4年1月9日から東京・両国国技館で開催。

谷津遊路商店街を探検

ボーイスカウト習志野第2団



谷津遊路商店街を巡った「習志野探検隊」の参加者

緊急事態宣言が明け、ボーイスカウトも活動を再開した。

ボーイスカウト習志野第2団では10月24日、スカウトたちが「習志野探検隊」として、谷津遊路商店街の店々を歩いた。8月にオープンした紅茶やケーキの「ヤツカフェ」では「紅茶が始めた国は」「ココアの原料は」といったクイズが出題され、世界の雑貨「ゼフィロス」、焼き菓など販売の「金のうさぎ」、和菓子の「菓匠あかね家」、ミートショップ「ハローマザーズ」を巡り、各店で扱っている商品や製造の話などを聞き、いろいろな体験をしながら商店街の店について学んでいた。

小学1年生と2年生が所属するビーバー隊の団員たちは「ケーキ屋さんでは使う道具のクイズがあって、いろいろなものがあることを知りました」「和菓子屋さんには、すごく大きな機械があって、それを何のために使うのか教えてもらって楽しかった」「お肉屋さんには、見たことがない肉があって、手づくりのものをどうやって作っているのか見て、面白そうだった」と感想を語った。子どもたちは、お店に贈るため、お礼を込めてメッセージカードを書いた。

探検隊に協力した保護者も「買い物に行きますが、いままでお店の人の人柄まで知る機会はありませんでした。話を聞くことができ、貴重な時間でした」と話していた。

習志野第2団の中川和久団委員長は「コロナ禍ですが、感染対策措置を講じて、できる限りのことをやって、子どもたちが将来、何になりたいかのといったところから、ボーイスカウトがきっかけを作ってあげれば良いと思います。保護者からは商店街が「こんなフレンドリーとは思いませんでした」という話が出たほど楽しい活動でした」と話した。

習志野第2団のビーバー隊は現在、6名で活動している。活動自粛中もリポートによる「リサイクル工作」などを続け、11月からもお菓子作りや、冬支度する季節を感じる体験、正月かざり作り、昔遊びなどの活動を進めている。

防災キャラバンで体験コーナー
ボーイスカウト

11月7日にはイオン八千代線が丘店で、全国防災キャラバンとして、習志野市と八千代市のボーイスカウトが合同で、防災にも役立つロープ結びの体験プログラムなどに協力した。

もしもの時にみんなで助け合うことを考えられるように、ビニール手袋の上のキャップを回してみるとわかる、指先が動かしづらい経験コーナーも設けられた。コーナーを担当したボーイスカウトはキャップを開けることが難しい高齢者の手助けをするだけでなく、できない人の立場に立って理解することの大切さについて話した。